

祝 連載50号!

誰も祝ってくれないけど、
どなりや50号って何のぞ。

カジがこのコラムを書き始めてから、かれこれ8年の時が流れたことになる。当時小学生だった子は、今や高校生や大学生になっただろうし、高校生ぐらいだった子は社会人となって活躍していることであろう。その間、カジは尿管結石になったり、石焼きビビンバを何度も焦がしたりと、激動の時代を過ごしてきた。そんな時代なのか、このしょーもないアホコラムを書き続けられたことは、大変喜ばしいことであり、地球の未来に全く影響を及ぼしていないと思ふと、これまた実に気持ちいい!

さて、真ん中の四角の記事に注目。4号前のクールリブラーに掲載した「リアルカジ同窓会」のミニ記事である。お察しのとおり、50号記念にも関わらず、今回はネタがないのだ。

華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

クールリブラー

講座

カジのひねもすハイスクール純情派

文/カジ

真ん中の四角の記事 クールリブラー46号より

リアルカジ、中学の同窓会が開催される!

先日、中学の同窓会が開催されたのな。卒業以来、実に20年ぶりぐらいのやつだ。一見、へえって話だが、カジの場合は違う。中学といえば、ご存知千絵ちゃん。同窓会といえば、その千絵ちゃんと再会できる唯一ともいえるチャンスなのだ。その詳細は… ネタに困った号の時にでも本文で書いていこうと思うので、柿の種を食べながら待て!

素敵なルネッサンス 平松愛理

1990年12月にリリースされたガーリソング。ウッチャンナンチャンの「やるならやらねば」という番組のエンディングテーマだった。秀逸なメロディと秀逸な歌詞に加え、秀逸な歌声でカジに人気を博した。

「千絵ちゃんが同窓会に来るらしい」

風の噂でそう聞いた日から、手汗がハンパない。思い起こせば、千絵ちゃんを最後に見たのは大学の頃。カジの中の千絵ちゃん、今も変わらないうあの当時のままなのだ。同窓会当日。会場へ向かうカジのテーマソングは、平松愛理の『素敵なルネッサンス』。好きだった人と同窓会で再会しちゃった☆的なガーリソングな。会場到着後、受付を済ませ意気揚々とホールへ。千絵ちゃん来てるか。ドキドキしながら会場内を眺めるも、どうやらまだ来てないらしい。それどころか、話せそうな子がいない…。みんなとそれなりに仲良かったつもりだったけど、卒業してから時間が経ちすぎて気軽なノリで話せない。名前もいまいち思い出せないから、顔合わせても「おおーぐらいしか言えないわ。千絵ちゃんと会えることがかりに気を取られて、この状況を想定していなかった!」

まさかの同窓会ほっち…

開会まで15分。さて、この状況をどう凌ごうか。会場は3年のクラスごとにテーブルが分かれていて、それぞれのテーブルにやりわり集まるシステムなのだが、カジのいた1組はまだ数人しか来ていない。とりあえず、スマホをいじりつつ全体の様子を見てやり過ごす。2分経過。動きなし。続いてテーブルに置かれた瓶ビールのラベルを凝視。セミリアルな麒麟柄が程よく目に焼き付いてきた頃、背後から女子の声が

「あ、カジくん久しぶりー!」

この声はまさか! 振り向くと…

「わたしのこと覚えてるっ!」

ち、千絵ちゃん!

じゃねえな、誰だ君は?(次回へ続く)